

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***2022. 6. 1***☆

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

人生、旅の読本
～通算 500 号発行にあたり～

発行者：牧野 F P 事務所合同会社 代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***通算第 500 号***☆

<第 500 号の目次>

■ 今週のテーマ

人生、旅の読本
～通算 500 号発行にあたり～

■ 「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

■ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

■ 編集後記

それでは、
今週のテーマからはじめます。

■ 今週のテーマ

人生、旅の読本
～通算 500 号発行にあたり～

2012 年 9 月から、
週に一回発行しております、このメルマガ
「人生の添乗員 (R) からの
ワンポイントメッセージ」は、
今回、通算 500 回目の発行です。

この10年を振り返ると、
世の中は変わりました。
それに伴って、
私のところに相談にみえる内容も
変わってきています。

そこで、今回は、
生涯の家計収支の流れを、
特に、資産形成をすることを中心に
お伝えいたします。

簡単にお金が増える時代

10年前も現在と同様に、
「貯蓄から投資」と言われていました。

すでにこのころには、
預け入れたお金が、
その金額以下にならないように
元本が保証されている、
銀行の預貯金口座に預けて、
利子、利息が増えていく、
時代が終わっていました。

しかし、その当時は、

1990年代の後半まで、
銀行の預貯金の利子利息が、
年利5. %くらいで貯めていた方や、

また、定期（死亡）保険や養老保険といった、
保険の商品に、保障とともに貯蓄目的で、
加入していた方も、
貯蓄の成果として、満期解約金などで、
現在では、考えることができない金額を
得ていた方もいました。

今後、またこのようなお金を、
銀行に預けておいたり、保険に加入したり、
しておくだけで、
お金が増える時代が戻ってくる。

と、信じていた方がいたのも事実でした

貯蓄から投資を自覚する時代

このような経緯もあり、
元本の保証のない
株式、投資信託といった金融商品で、
資産形成をしていくことには、
躊躇している方が多くいました。

しかし、現在では、
・NISA（少額投資非課税制度）
・iDeCo（個人型確定拠出年金）
といった税制優遇を利用して、
資産を形成していくことが可能です。

ただ、これらの制度で、
運用できる金融商品のほとんどは、
運用次第で損益が変わっていきます。

従って、
それこそ、10年前にも言われていた、
「貯蓄から投資」自己責任で、
資産を形成することを自覚して、
金融商品の仕組みといった
資産運用の知識をことが得るが必須です。

資産形成の方法は千差万別

とはいうものの、
元本の保証のない金融商品で、
運用しなくても、
銀行に預けておけば、
お金は盗まれることなく、
預けた金額は増えていきます。

金融商品で元本が減るかもしれないリスクを
とりながら、収益（リターン）を求めるか、
単に、お金を銀行に預けて増やすかは、
人それぞれ、千差万別の考え方があります。

その方の今までの生活から、
影響されることもあるでしょう。

例えば、親が株式投資をして、
その仕組みを子どもに教えていけば、
または、その様子を見ながら育った子どもは、

元本が保証されていない金融商品で、
運用することに、
ためらいはないかもしれません。

様々な生活のしかたがある

私は、この10年の間に、
奨学金の仕組みを日本学生支援機構の
スカラシップ・アドバイザーとして、
奨学金や生涯のライフプランの
話をすることで、

また、母校中学のPTA会長を務め、
地元の自治会や行政の
会議などに出席することで、

10代から90代の
老若男女様々な年代の方と
交流の機会を得ることができ、

様々な考え方をもち、
生活をしている話を聞くことができました。

この貴重な体験はわたくしの宝であります。
ひとり占めするのではなく、FP業務を通じて、
多くの方に伝えていくのは、
私の責務だと自負しています。

特に、家計の環境で、
その子のお金への考え方が形成されること。

また、子どもが成人に達したあとは、
できるだけ早く、
自分で、資産を形成する考え方を決め、
実行していくことです。

つまり、人生の成長に伴い、
例えば、結婚、住宅購入、子どもの成長、
老後の生活といった、
生活の環境が変わるときに、

時にはパートナーとともに修正しながらも、
根本的には変えない人生の軸をつくるのが、
大切だということです。

自分で生活のレベルを決める時代

現在すでに、
生涯同じ企業に勤めあげる
終身雇用に時代は
終焉を迎えつつあります。

また、定年の概念も崩れかけていて、
自活して生活のできる健康寿命の
年齢であるおおよそ 75 歳までは、

働いて年金以外の収入を得ることも、
可能になってきています。

つまり、
まわりの人の生活に合わせよう
とすることなく、
また、まわりから自分が、
どのようにみられているのかも
気にすることなく、

自分で、自分の生活のレベルを決めて、
生活していく時代になり始めています。

今までは、試験を受けるために勉強して
点数で評価されていました。
社会人になって同じようなこともありました。

しかし、これからは、
自分が必要だと考えたことは、
自発的に、勉強してより深い知識を得て、
生活に活かしていく。
そこには、点数も他人からの評価もない。

といった時代にすでになっています。

10年後に、1000号を発行するとき、
どんな世の中になっているのか？

少なくとも、私の著述の「人生旅読本」は、
現在の2倍以上のページ数に、
なっていることでしょう。

楽しみであり、一抹の不安もあります。

■「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

自分の人生の行程を描いて、

それを軸に生活をしていけば、

世の中の変化を、

受け入れることもできます！

■人生の添乗員 (R) 牧野寿和のプロフィール

日本で唯一「人生の添乗員 (R)」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

創業 19 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。
そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 1100 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・ NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ (FP) 協会 CFP (R) 認定者
- ・ 1 級ファイナンシャル・プランニング技能士 (資産設計提案業務)
- ・ 福祉住環境コーディネーター
- ・ 総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ〜テレ (名古屋テレビ) 「UP!」

<執筆>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない!
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
首都圏や関西にも
リモートでお会いする機会が増えました。

「人生の添乗員 (R)」は、

他人を気にすることなく、
相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:

■編集後記

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:

おかげさまで、

今回 500 回目の発行することができました。

読者の皆さまがたには、感謝申し上げます。

これからも、

いかにお金と快適な生活をしていくのか、

考えてまいります。

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

引続き、ご愛読の程、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野 F P 事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町 2 - 8 6

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。
こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
